



この成果報告は
競輪の補助を受けて報告しています。

会員各位

2023年4月吉日
一般社団法人 日本歯車工業会
JGMATEプロジェクト運営委員会
委員長 池滝 重隆

一般社団法人 日本歯車工業会

「次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト」 (略称：JGMATEpj)

2022年度事業報告

当工業会の企画事業であります「次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト」JGMATEプロジェクトに関しまして多大なご理解とご協力を頂きましたことを心からお礼申し上げます。本事業は、機械装置の性能を支える歯車用鉄鋼材料の品質を効率的且つ適正に評価できる新開発の測定装置を基に実使用鋼材のフィールドでの有用性を担保するための新評価法確立と合わせて、当該の評価法を日本製機械装置の性能向上と鉄鋼品質安定化に寄与し、国際競争力を高める強力な武器とすることを目的に、将来の新JIS規格化をめざして、平成28年度(2016年度)より活動してまいりました。

今年度につきましてもJIS規格化に向けたデータ蓄積のための硬度測定業務を主に進めてまいりましたが、残念ながら測定依頼はございませんでした。

このような状況に鑑み本装置を有効利用頂くため、JKA管理期間短縮の確認を行った上で、理事会に「金属性状評価装置」売却譲渡による資産除却提案を諮り、賛成多数により承認を得ることができました。この結果を受け、会員企業様に売却譲渡提案を行いましたところ、複数の企業様よりお話を頂き、この度譲渡先が決定致しました。

平成28年度より7年間の長きに渡り本事業を進めてまいりましたが、装置製造メーカーの事業からの撤退、新型コロナウイルス感染拡大の影響等も有り、当初の目的であったJIS規格化には残念ながら至りませんでした。しかしながら評価法に関しましてはJIS規格の前段階である当工業会JGMA規格として2020年に発行され、新たな鋼材の品質評価法として後世に残るものと思われまます。

今後も多点硬度測定に関するご依頼につきましては応用科学研究所様設置機による測定を継続してまいりたいと存じ上げます。ご用命の際は連絡下さいますようお願い申し上げます。

本事業推進に種々協力賜りました会員企業様にはこの場をお借りして深謝申し上げます。
7年間、有り難うございました。

以 上